

ごみ減量・もったいないねット山形

ニュース

平成28年
11月発行

食べ残しに
「もったいない」の心を



平成28年度 総会を開催しました!

第2部情報交換「食品ロス削減に向けて」(鼎談)



平成28年度総会が「ごみゼロの日(5月30日)」に行われました。100名を超える会員の皆様にご参加いただき、事業や予算、役員選任等について協議され、全議案が承認されました。

また、第2部情報交換では、「食品ロス削減に向けて」をテーマに、佐藤孝弘山形市長、(株)ジョインセレモニーの武田靖子常務取締役、本会の金澤会長による鼎談を行いました。食品ロス(まだ食べられるのに捨てられてしまう食品)の削減に向け、市民、事業者、行政それぞれの立場から現状認識と今後のあり方について3者で語り合いました。本会の今年度の大きなテーマである「食品ロスの削減」に向けた活動に大きな弾みがついた鼎談となりました。

役員紹介

5 R 情報発信部会
部会長
鈴木 隆男

ごみ減量アドバイザー部会
部会長
鹿野 順子

広報部会
部会長
村中 秀郎

監事
渡辺 明

新
監事
渡部 和生

よろしく
お願いします!

アドバイザー
菅野 節子

ごみ減量学習部会
部会長
齋藤 淳

副会長
高倉 正則

副会長
長瀬 洋子

買い物エコフレンド部会
部会長
中村 明千

会長
金澤 和子

平成28年度 総会において



部会での活躍が著しい方を表彰する「もったいないアワード 2016」の表彰が行われました。



本会の運営スタッフとして、多くの事業企画に参加し活躍いただいた佐藤弘子さんに贈られました！

健康体操披露

健康体操の振り付けを考案いただいた山形市健康づくり運動普及推進協議会の運動普及推進員さんと会員有志が、本会イメージソングにあわせて楽しく健康体操を行いました♪



広報部会

食べ残し削減に向けた取り組みを展開します!!



総会の第2部情報交換のテーマでもあった「食品ロス」は、国内で年間632万トン（平成25年度推計）発生しています。

広報部会では、飲食業界における食べ残し状況の実態把握とごみ減量啓発グッズの参考とするため、市内の飲食関係165事業者を対象とした「食べ残し状況調査」を実施しました。

このアンケート結果を踏まえて、全国各地で取り組んでいる「30・10運動」を周知するため、「食べ残し削減コースター」を作製することにしました。12月・1月の忘新年会シーズンに配布できるように、現在デザイン等を詰めている最中です。

食べ残し削減に向けた取り組みが市民や飲食関係事業者へ広がる第一歩にしたいですね。

「減量すすむくん」 着ぐるみ出張しました!!

本会のイメージキャラクター「減量すすむくん」着ぐるみは、ごみ減量の輪をより一層広めるために各種イベントで活躍中です。

6月25日・26日には「子育て応援団 すこやか2016」へ出張し、会場を訪れた子供たちの人気の的となっていました。

なお、本会に関する活動以外の、ごみ減量・再資源化をアピールできるイベントへの着ぐるみ貸出申請は随時募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

皆さんからの申請待ってます♪



スポーツの秋到来！ 一緒に健康体操はいかが？

10月9日、山形市総合スポーツセンターで開催された「第9回山形市民スポーツフェスタ」の特設ステージにて、山形市健康づくり運動普及推進協議会の運動普及推進員さんと会員有志によるイメージソング健康体操の発表を行いました。



コラボ共演は今回で3回目!



すすむくんの 『もったいない!』 第14回

このコーナーでは、「ごみ減量すすむくん・かなえちゃんかるた」を1枚ずつポイントを踏まえて紹介します。



読句

のこさない
たべるぶんだけ
バイキング

解説

お寿司や焼肉、惣菜、デザート等、大好きな食べ物を好きな分だけ食べることができるのがバイキングの魅力です。でも皆さん、夢中になってつい取り過ぎてしまった経験はありませんか？

美味しい食べ物も食べ残してはごみ。自分のお腹と相談して楽しく、残さず食事しましょう♪

ごみ減量
学習部会

ごみ減量学習会

EMボカシ容器の

6/23木

使い方と活用術

講師：ごみ減量アドバイザー エコ・いではの会

EMボカシを利用した生ごみ発酵肥料の作り方と活用方法、EMボカシの作り方を学びました。



EMって何？

EMとは、安全で有用な微生物群の名称です。EMには、善玉菌の微生物がたくさん含まれていますが、中でも乳酸菌、酵母、光合成細菌が特に大切な働きをしています。EM原液の中には、1CCあたり約1億の微生物が入っています。使う際には、目的に合わせて薄めて使います。EMには、増やすことができるという大きな特徴があります。

山形市ではEMボカシ容器への
購入補助制度があります!!



新たな
発見!

リサイクルツアー

10/13(木)に59名の方が参加し、
3ヶ所の施設を見学しました。



(株)山形県自動車販売店
リサイクルセンター

(東根市一本木)

使用済み自動車のリサイクルを行う企業。自動車部品の取り外しと解体作業を見学したほか、エアバッグやシートベルトを再利用した、バッグ等のリサイクル製品製造について学びました。



テルス(株)

(山形市鑄物町 西部工業団地内)

廃プラスチックから燃料(RPF)やプラスチック原料(ペレット)を製造する企業。プラスチックの選別作業から製品が出来るまでの過程を見学しました。



上野最終処分場

(山形市蔵王上野)

もやせないごみや清掃工場から出る焼却灰等を埋め立て処分する施設。処分場の埋め立て方式や現状などを学びました。



新規会員事業者紹介

思い出の着物を
蘇らせてみませんか？

5R情報
発信部会

今回紹介する新規会員さんは、思い出の着物を蘇らせている「きんらんどんす」(代表：佐藤弘)さんです。

「きんらんどんす」では着物の状態に合わせて、仕立て直しや、京染めによる染め替えなどの提案もしてくれます。

代表の佐藤さんは「着物にはその時々思い出がある。捨てられるのはもったいないことなので、縫い直しや身丈直し、染め直しで新しく蘇らせて着ていただきたい。着物のことを良く知らない方も気軽に相談してほしい。」と気さくに話す。

例えば染め直しを利用すると、費用が新品の3分の1程度で済むなどリーズナブルな点も魅力のひとつです。もちろん、仕立て直し以外にも、新品の販売、着付け教室も行なっています。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



取材の様子
(右が代表の佐藤さん)



古くなった着物で
仕立てた暖簾



コースター

代表の佐藤さんはNPO法人「着物を着る習慣をつくる協議会」の山形支部代表でもあります。東日本大震災後、たびたび被災地に足を運び、全国から不要になった着物を被災地に届け、被災地域の女性が手仕事で生地から小物を作って販売し、収入につなげる活動も行なっています。

きもの専科 きんらんどんす

営業：月～土曜日 10:00～19:00 (日曜祝日は要相談)
山形市江俣四丁目18-32 駐車場3台

TEL：023-684-0275 FAX：050-3321-1296
E-mail：kinran@io.ocn.ne.jp
URL：www.kinrandonsu.com

ごみ減量アドバイザーに学ぶ

ごみ減量
アドバイザー部会

地域のごみ減量学習会等にごみ減量リサイクルのスペシャリストを派遣しています。
10月末日現在、12回438名の方にご参加いただいています。



マイはし作り

世界にひとつ
だけのマイはし
完成！



エコいけばな



小型家電リサイクル



シンプルライフを求めて



エコクッキング



EM活用術

身近なものを
とことん
利用しよう！



今野久子アドバイザーは、洋服のリフォームや残布の活用、生活用品の徹底利用など普段の生活から生まれたアイデア溢れる作品をお見せしながら「ものを大切にする心」をお伝えしました。参加者は、今野アドバイザーのアイデアに大変感心していました。

新規登録アドバイザーを紹介

今年度新たにアドバイザーとしてご登録いただいた6名の方を紹介します。

フラワーアレンジメントから野菜作りまで、エコな技をお伝えします

畠山優子 アドバイザー

地産地消の食材を使い簡単に素敵なデコ巻き寿司の作り方を教えます

多田葉津恵 アドバイザー

環境ノートを使ってエコな生活を一緒に考えましょう

田中千鶴子 アドバイザー

食品トレーリサイクルについて詳しくお伝えします

小野寺肇 アドバイザー

生ごみを良質なたい肥にする方法やEMポカシ、EMせっけんの作り方などを詳しくお伝えします

長岡義弘 アドバイザー

地産地消でエコなお料理をお伝えします

今田みち子 アドバイザー

地域の集まりなどでごみ減量アドバイザーの講座を開きたいとお考えの方は、本会事務局（山形市役所ごみ減量推進課内）までご相談ください。目的や人数、年齢などに応じて講座内容をご提案します。まずは、お気軽にお問い合わせください。



買い物
エコフレンド
部会

食品トレーリサイクルを進めよう!



6月15日～30日の期間に、食品トレーリサイクルキャンペーンを実施しました。スーパーの店頭で部会員がチラシを配り、店頭回収に出せるもの、出せないものを説明しました。買い物ついでに発泡トレーや透明トレーを持ってくるお客様が多く、店頭回収が浸透してきていると感じました。

しかしながら、お店の方に何うと、回収できないものが入っていることもまだまだあるようです。マナーを守って店頭回収を利用しましょう。



日 時	店 舗 名
6月15日(水)	生協城西店
6月17日(金)	びっくり市山形南店
6月18日(土)	ヨークベニマル大野目店
6月22日(水)	ヤマザワ清住町店
6月25日(土)	ショッピングセンター吉田
6月30日(木)	イオン山形南店

間違いやすいもの アルミ箔が貼ってあるトレーは、回収できません。ご注意ください!

ごみ減量ロビー展 5月30日、31日

山形市役所1階エントランスホールにおいて、本会の活動やごみ減量方法について、買い物エコフレンド部会員が来場者にお知らせしました。

また、ごみ減量アドバイザーの越後恵美さんらによる身近な花や廃材等を利用した「エコいけばな」が会場を華やかに彩り、本会会員企業様(花王カスタマーマーケティング(株)、(株)エフピコ、(株)丹野)よりブース設置や啓発品の提供をいただきました。

2日間だけの開催でしたが、訪れた方にPRすることができました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



地球環境について考えるきっかけに ～キャンドルスケープinやまがた2016～

7月2日に開催された「キャンドルスケープinやまがた2016」に、「COOL CHOICE (=賢い選択)」賛同団体として、金澤会長が本会を代表して参加しました。

山形市長や他賛同団体と共にキャンドルタワーへの点灯を行い、会場は優しく、心温まるロウソクの灯りで幻想的な雰囲気になりました。

また、本会のブースを設置し、減量すすむくんも参加しました。

クール チョイス
※**COOL CHOICE (=賢い選択)**とは?
身近な生活の中で温室効果ガス削減につながる「賢い選択」を楽しみながら、無理することなく環境に配慮した生活スタイルの定着を目指す、地球温暖化対策のための国民運動。

☆本会の活動を紹介 5月23日～6月24日 ごみ減量パネル展

6月の環境月間に合わせ、山形市中央駐車場のウィンドーディスプレイにて、本会の取り組みを紹介する展示を行いました。昨年に引き続き、山形市立第一中学校総合文化部と山形市立第八中学校総合活動部の生徒によるエコいけばな作品を展示し、多くの市民の方にご覧いただきました。





総会で話題!!

米袋 エコバック

総会で注目を浴びた米袋で作製したエコバックは、本会個人会員の富田理恵子さんの手作りで。早速、富田さんにインタビューしてみました。

雑誌に作り方が掲載されており、友人が持っていた実物を見て影響を受けたのがきっかけだそうです。

作り方については、①米袋に好みのサイズになるようにマチを付け、中に内袋を縫い付ける。②取っ手は米袋の切り取った部分と内袋の共布で作る。ミシンで縫えるため、簡単にできるそうです。

アレンジとして、サイズの違う米袋で何種類か作製したり、内袋に思い出のある子供服等を利用してのことでした。また、米袋を縛るためのエコラフトテープ部分を利用して作ることができる「お花のコサージュ」はバックに取り付けることもできるそうです。

皆さんも世界に1つだけの米袋エコバックはいかがですか？

作者：富田さんからのコメント

米袋エコバックは可愛らしく、軽くて丈夫で実用的な上、山形のお米のアピールにもなり一石二鳥です！使い心地は抜群です！



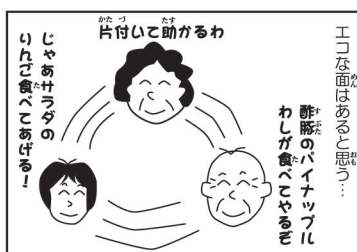
分別基本の ㊦



シリーズ 6

ぶんべつ きほんのき

作：TAKA2 トッコちゃん



㊦ 賞味期限と消費期限の違いは？

買い物をする際にチェックされる方も多い、食品の期限表示。でも皆さん、期限表示の意味を正しく理解していますか？

賞味期限…おいしく食べることができる期限。この期限を過ぎても、すぐ食べられないということではありません。(例：スナック菓子、缶詰等)

消費期限…安全に食べることのできる期限。この期限を表示した食品は傷みやすいため、期限内に消費する必要があります。(例：お弁当、惣菜等)

どちらも開封前の期限ですので、開封後は期限にかかわらずに早めに食べましょう。



会員情報

会員数 (平成28年10月7日現在)

個人：472名 団体：41団体

事業者：181事業者

計 694

新事業者 (H28.2.13~H28.10.7)

- ・蔵舞たぬき
- ・this color
- ・(株)のとや
- ・割烹 飯豊
- ・ときわ亭山形鈴川店
- ・きもの専科 きんらんどんす

これからの事業予定

○「もったいないアカデミー」

1月25日(水)、2月16日(木)山形市役所 11 階大会議室にて

○「第8回ごみ減量すすむくん・

かなえちゃんかるた大会」

1月28日(土)山形市総合スポーツセンター(落合町)にて

○「第9回やまがた市民活動まつり」

2月19日(日)山形市霞城セントラル1階にて

※かるた大会と市民活動まつりには、「減量すすむくん」も参加!!

後記

今回は、インターンシップ中の山形大学人文学部の菊地智美さんと高橋のかさんにも情報誌作成にご協力いただきました。



菊地智美さん 高橋のかさん

問い合わせ・申込み先

「ごみ減量・もったいないねット山形」事務局
山形市ごみ減量推進課内(市役所10階)

〒990-8540 山形市旅籠町二丁目3番25号

Tel 641-1212(内線699) Fax 624-9928

Eメール gomigen@city.yamagata-yamagata.lg.jp

ホームページは、「もったいないねット」で検索

フェイスブックは、「ごみ減量・もったいないねット山形 Facebook(フェイスブック)」で検索

